

新秩序の模索と民族自決

第一次世界大戦の講和会議は、米大統領ウィルソン提唱の 14 カ条を基調としたが、各国の思惑がぶつかり、戦勝国対敗戦国という図式を大きく越えて複雑な様相を帯びた。日本は戦勝国として会議に臨んだが、予想外の逆風に悩まされた。逆風は強く、アメリカが日本の台頭を抑える新秩序の模索に動き始めた。

○ヴェルサイユ体制

●パリ講和会議と国際平和機関

米大統領⁽¹⁾ _____ は、14 カ条の平和原則を提唱した。

⇒ドイツがこれを受け入れ、1918 年 11 月、第一次世界大戦が終わった。

◇14 カ条…秘密外交の禁止、民族自決、国際平和機構の創設など

◇民族自決…戦争勃発の一因の東欧諸国に限り、各民族が独立・政府樹立可能



1919 年、⁽²⁾ _____ 締結

…パリ講和会議において、ドイツと連合国との間で結ばれた講和条約

…日本全権は⁽³⁾ _____ ・牧野伸顕^{のぶあき}

…①ドイツに巨額の賠償金支払い・軍備制限・領土の一部没収を課すこと

…②締結した連合国が、国際平和機構に加盟すること

…③日本が、中国⁽⁴⁾ _____ 省の旧ドイツ権益を継承すること、および、

赤道以北の旧ドイツ領⁽⁵⁾ _____ の⁽⁶⁾ _____ を得ること

◇(6) …植民地形成が大戦の一因のため、国際平和機関からの「委任」と表現



1920 年、⁽⁷⁾ _____ 成立

…日・英・仏・伊を常任理事国とする国際平和機関（米国は不参加）

…スイスのジュネーブに事務局を置き、事務局次長は新渡戸稲造^{にとべいなぞう}

…日本の加盟は、原敬内閣の時



図1 ウィルソン

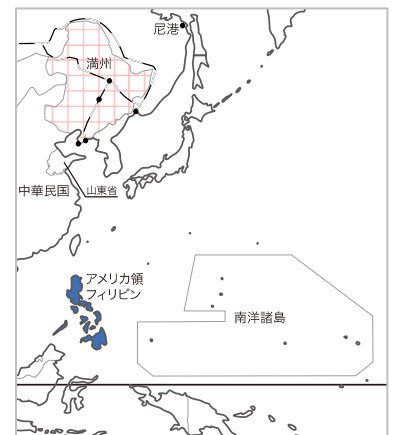


図2 20 世紀前半のアジア

●払拭できない黄色人種差別

日本は、アメリカなどでの日本人移民排斥に悩まされていた。

→パリ講和会議で、日本は人種差別撤廃案を主張した。

⇒他の国々からの反対で、ヴェルサイユ条約には採用されなかった。

●民族意識の高まり

1919 年 3 月、⁽⁸⁾ _____

…民族自決という国際世論の中、朝鮮全土で民衆が独立を求めた運動

…朝鮮総督府は、警察・憲兵・軍隊を動員して鎮圧



原敬内閣は、国際世論へ配慮するとともに、文官の総督就任を認めた。

⇒海軍出身の斎藤 実^{まこと}が朝鮮総督に任命されて武官のままであったが、

武力ではなく宥和による植民地統治に方針変更した。

◇台湾総督に関しては、文官の田健治郎^{でん}の就任が実現



図3 三・一独立運動

●山東問題と逆風に立つ日本

第一次世界大戦中、中華民国は日本の⁽⁹⁾ _____ に対して、
中国山東省の旧ドイツ権益継承などを認めた。

→パリ講和会議で、中華民国は承認撤回を主張し、アメリカも日本を非難した。

⇒中華民国の主張は拒否されたが、予想外の非難に日本は衝撃を受けた。



1919年5月、⁽¹⁰⁾ _____

…旧ドイツ権益の中華民国への返還を求める反日運動



図4 五・四運動

○ワシントン体制

●東アジアの新秩序

アメリカは、東アジアでの日本の台頭を抑え、中国進出の遅れを取り戻そうとした。



1921～22年、⁽¹¹⁾ _____

…米大統領ハーディングが提案した、米・英・日・仏など9ヵ国参加の会議

…日本の中国進出の抑止、日本の海軍力拡大の停止などが目的

…日本全権は海相⁽¹²⁾ _____ ・駐米大使幣原喜重郎^{しではらきじゅうろう} ・徳川家達^{いえさと}



図5 ハーディング

<太平洋の平和について>

1921年、⁽¹³⁾ _____ 締結

…米・英・日・仏共同による太平洋の問題解決を約すると同時に、

⁽¹⁴⁾ _____ を廃棄させた条約

<中国について>

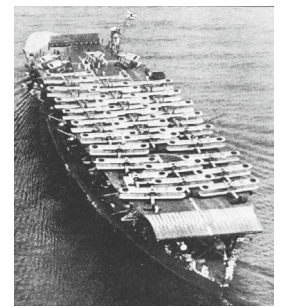
1922年、⁽¹⁵⁾ _____ 締結

…9ヵ国（米・英・日・仏・中および中国に権益を有する4ヵ国）で、

中国の主権尊重と、中国での商業活動の機会確保を約した条約



日本は、⁽¹⁵⁾ に基づいて⁽¹⁶⁾ _____ を廃棄し、また、
米英の仲介で中華民国と山東懸案解決条約を結び、山東省の旧ドイツ権益を返還した。



赤城（航空母艦）

本来は主力艦の予定であったが、ワシントン海軍軍縮条約をうけ、航空母艦に変更された。ミッドウェー海戦で沈む。

<主力艦の保有について>

1922年、⁽¹⁷⁾ _____ 締結

…米・英・日・仏・伊の主力艦保有率を「5・5・3・1.67・1.67」に制限した条約

◇主力艦…「重さ1万t以上」か「口径203mm以上の砲をもつ」戦艦

●協調外交の維持

立憲政友会の⁽¹⁸⁾ _____ 内閣は、四カ国条約・ワシントン海軍軍縮条約を結び、
米英との対立を避ける外交⁽¹⁹⁾ _____ をとり、以降の内閣もこの外交を続けた。



憲政会の⁽²⁰⁾ _____ 内閣が成立すると、憲政会も協調外交反対を止めた。

→外相⁽²¹⁾ _____ のもとで⁽¹⁹⁾ が展開され、⁽²²⁾ _____ と呼ばれた。

⇒陸相⁽²³⁾ _____ が軍縮や装備の近代化、中等学校以上での軍事教練を進めた。

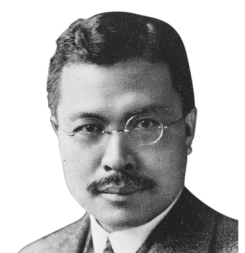


図6 幣原喜重郎